

～令和3年の当署における主な取り組みについて～

1 警務課

- ・ 幼稚園における「ひまわりの絆プロジェクト」の実施
- ・ カラフルタウン岐阜における「こどもけいさつ絵画コンクール受賞作品展」の開催

2 会計課

- ・ 拾得物件の保管及び管理に関する協定の締結

3 生活安全課

- ・ 家電量販店と連携したニセ電話詐欺防止活動の実施
- ・ MSリーダーズ等による自転車利用者に対する広報啓発活動の実施

4 地域課

- ・ 水難事故防止パトロール及び啓発活動の実施

5 刑事第一課

- ・ 当署管内の刑法犯認知件数・検挙状況・主な検挙事件

6 刑事第二課

- ・ 特殊詐欺事件の認知・検挙状況

7 交通課

- ・ 県内及び当署管内の交通情勢について

8 警備課

- ・ 災害等有事における対処能力の向上訓練
- ・ 国際テロ等の脅威に対する備え

1 警務課

(1) 幼稚園における「ひまわりの絆プロジェクト」の実施（警務課）

「ひまわりの絆プロジェクト」は、平成23年、京都府内で発生した交通事故で4歳の男の子が亡くなり、生前男の子が幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰ったことから、ご両親は男の子が生きた証としてそのひまわりを大切に育てていました。

平成25年春、この交通事故を担当した警察官が自宅を訪問した時に、ひまわりの種を託され、交通事故防止を願う目的で全国展開されているものです。

令和3年5月28日、羽島郡笠松町地内に所在する「善光寺学園 笠松双葉幼稚園」において、園児達にこの交通事故の悲惨さ、交通事故に遭わないため交通ルールを守ることを説明し、園児達と一緒に園庭にひまわりの種を蒔きました。

園児達は、「交通事故に気を付けます。」と大きな声で約束してくれました。



(2) カラフルタウン岐阜における「こどもけいさつ絵画コンクール受賞作品展」の開催

令和3年度「こどもけいさつ絵画コンクール」で受賞した作品のうち、岐阜羽島警察署管内の小学校に通う4年生が受賞した39点を展示しました。

コンクールには、岐阜県下で199校、5,245名、当署管内は12校、534名が応募しました。当署管内の受賞者は、特選1名、優秀1名、佳作6名、入選31名でした。



(展示期間 R3. 8. 19～R3. 8. 24)

2 会計課

○ 拾得物件の保管及び管理に関する協定の締結

会計課が取扱う遺失物及び拾得物の業務において、今回、管内の大型ショッピングセンター2社（※1）との間で、それぞれ「拾得物件の保管及び管理に関する協定」を締結しました。

これは、これまで店舗で拾われた拾得物全てを警察署で受理していましたが、協定の締結により警察で取り扱う必要のある現金や貴重品、個人情報関連物件以外の「衣類、生活用品、小物類（傘、ハンカチ、タオル、お買上商品など）」を店舗側で保管・管理してもらうというものです。

これにより、警察署としては

- ・ 店舗から提出される拾得物件のうち、7割程度が店舗で保管されたことで、拾得物件の受理等に要する時間が半分以下になるなど、業務の合理化・効率化
- ・ 拾得物の保管スペースが減少し、倉庫の有効活用などのメリットがあり、店舗側としても、
- ・ 拾得物件にかかる運送時間やコストなどの事務負担が軽減
- ・ 店舗の営業時間内（土、日、祝日含む）であれば、遺失者に対し、落とし物の返還や問い合わせに対応可能となるなど、遺失者の利便性が向上などのメリットがあるものです。

※1 大型ショッピングセンター2社（相手方）

イオン柳津店（令和3年6月1日締結）

カラフルタウン岐阜（令和3年8月2日締結）



イオン柳津店々長との協定締結時の模様

3 生活安全課

(1) 家電量販店と連携したニセ電話詐欺防止活動の実施

近年、高齢者を対象としたニセ電話詐欺の前兆電話及び被害が多発していることから、ニセ電話詐欺を防止する広報活動を行っています。

ニセ電話詐欺の多くは、固定電話へ着信させる方法で発生していることから、令和3年6月23日、家電量販店であるジョーシン岐阜カラフルタウン店と連携して「防犯機能付き電話機」を普及促進するための広報活動を行うとともに、

- ニセ電話詐欺犯人の音声動画の放映
- チラシを配布しニセ電話詐欺の現状と被害防止のための対処方法
- 「安全・安心メール」及び「防犯アプリ」の効果の説明及び登録を行い、ニセ電話詐欺の被害防止活動を実施しました。



(2) MSリーダーズ等による自転車利用者に対する広報啓発活動の実施

私立岐阜女子高校MSリーダーズの生徒、岐阜羽島警察署員、防犯協会職員が共同で、昨年中の当署管内における自転車盗難の発生状況を踏まえ、同校生徒に対して防犯情報が掲載された広報紙を配布して、自転車利用の安全促進、自転車盗難防止等に関する広報啓発活動を実施しました。



4 地域課

○ 水難事故防止パトロール及び啓発活動の実施

県下では昨年 41 件の水難事故が発生し、当署管内では、平成 28 年 6 月に、羽島市下中町城屋敷地内の河川敷（通称「馬飼ビーチ」）付近において、水上バイクによる事故が発生し、幼い 2 人の命が犠牲となりました。

水難事故の多くは、夏季に集中していることから、令和 3 年 7 月 21 日に国土交通省職員等と合同で馬飼ビーチのパトロール活動及び水難事故防止の啓発活動を実施しました。

同所利用者からは

「川のルールを守って楽しく利用したい。」

等の声が聴かれました。



5 刑事第一課

(1) 当署管内の刑法犯認知件数（各年とも7月末の統計データ）

区 分	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	合計
令和2年	3	41	428	22	4	87	585
令和3年	2	50	387	31	4	95	569

(2) 市町別刑法犯認知件数（令和3年7月末の統計データ）

区 分	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	合計
岐阜市	0	14	65	5	2	12	98
羽島市	2	15	196	18	1	40	272
岐南町	0	14	69	2	0	24	109
笠松町	0	7	57	6	1	19	90
合 計	2	50	387	31	4	95	569

(※ 岐阜市については、岐阜市柳津町)

(3) 当署管内の検挙状況（各年とも7月末の統計データ）

	検挙件数	検挙率	検挙人員
令和2年	222	37.9%	143
令和3年	262	46.0%	188

(4) 令和3年中の主な検挙事件

ア 被疑者4人による監禁・強盗致傷被疑事件

令和2年10月18日の深夜、羽島郡笠松町地内の路上で、呼び出した被害者を車両に押し込んで監禁して、車内や各務原市内の広場で暴行を加え怪我をさせた上、現金を要求した事件が発生しました。

後日、この事件に関与した被疑者4人を特定して逮捕しています。

イ 岐阜市近郊において発生した連続窃盗被疑事件

令和3年7月18日の深夜、羽島郡笠松町円城寺地内に設置された自動販売機を壊して、現金を盗もうとした男を警察官が発見し逮捕しました。

その後の取り調べで、被疑者が多数の余罪を供述したことから連続窃盗事件の検挙に繋がりました。

6 刑事第二課

○ 特殊詐欺事件 認知・検挙状況（令和3年7月末現在）

・ 認知件数

県下 140件（前年比 +67件）
当署 15件（前年比 +12件）

・ 被害額

県下 約1億7000万円（前年同期 約1億円）
当署 約2100万円（前年同期 約220万円）

・ 検挙件数

県下 51件（前年比 -5件）
当署 5件（前年比 +3件）

・ 傾向

岐阜県下

昨年は、県下認知件数が年間150件であり、増加傾向
手口としては、架空請求詐欺と還付金詐欺の増加が著しい。
（架空請求は前年比+27件、還付金は前年比+29件）

当署管内

主に預貯金詐欺4件、還付金詐欺3件、キャッシュカード詐欺盗4件の発生
が目立つ。

○ 主な手口

【架空料金請求詐欺】

「インターネットの有料サイト利用の未払い料金がある。」「訴訟になっ
ていて、費用がかかる。」などと嘘を言い、お金を振り込ませてだまし取る
もの。

【還付金詐欺】

市役所職員などを名乗る者から「保険料の払戻金があります。」「手続き
はATMで出来ます。」などと電話があり、その後、指示されたATMに行
き、教えられた電話番号に電話をかけ、言われるがままATMを操作し、
犯人の口座にお金を振り込んでしまうもの。

【キャッシュカード詐欺盗】

警察官や銀行職員などを名乗る者が、「詐欺グループを検挙しました。
キャッシュカードの現物を確認します。」などと嘘の電話をかけ、その後警
察官や銀行職員を名乗る者が自宅を訪れて、隙を見て、用意させたキャッ
シュカードを盗み、その後にお金を引き出すもの。

7 交通課

(1) 令和3年7月末の交通情勢について（交通課）

	人身事故	死者数	負傷者数
県内	1697件（+45件）	36人（+11人）	2131人（+37人）
管内	142件（+7件）	2人（+1人）	168人（+6人）
羽島市	55件（+8件）	2人（+1人）	63人（+5人）
岐南町	38件（+5件）	0人（±0人）	45人（+6人）
笠松町	22件（±0件）	0人（±0人）	26人（+1人）
柳津町	27件（-6件）	0人（±0人）	34人（-6人）

凡例：（）は前年同期比

(2) 県内の交通死亡事故の特徴

- 交通事故による死者数は36人（34件）で、前年同期より11人増加（+44%）しています。
- 岐阜県の全国での順位は、人口が17位のところ、交通事故による死者数はワースト13位、増減数同2位、増減率同5位となっています。
- 人口10万人当たりの死者数は、全国平均が1.14人のところ、岐阜県は1.82人（ワースト8位）であり、全国平均に比べ多くなっています。

（特徴）

- 死者は高齢者が多く、6割強を占める。（前年同期比+7人）
- また、運転者も高齢者が多く、4割を占める。（同+5人）
- 自動車乗車中の死者の内8人がシートベルト非着用であり、7人はシートベルトを着用していれば死亡しなかったと考えられる。

(3) 岐阜羽島署管内の死亡事故（2件2名）令和3年7月31日現在

- 3月1日午前5時00分頃、羽島市竹鼻町丸の内3丁目地内の信号交差点において、信号無視をした軽四乗用車と進行中の普通乗用車が出合い頭に衝突し、軽四乗用車の運転手1名（男性40歳代）が亡くなりました。
- 7月9日午前8時25分頃、羽島市正木町須賀小松地内において、道路を横断しようとした自転車に後続の普通乗用車が衝突し、自転車の運転手（男性70歳代）が亡くなりました。

(4) 各種取組

○ 広報啓発活動

関係機関や団体、交通安全協会等の連携した街頭での広報啓発活動のほか、学校や企業での交通安全講話など、交通事故の抑止活動を展開しています。



○ 交通違反取締り

パトカー等による各種交通違反取締り活動のほか、これまでは速度違反取締りが困難であった生活道路等において、新たに導入された可搬式速度違反自動取締装置による取締りを行い、走行速度の抑制を図っています。



8 警備課

(1) 災害等有事における対処能力の向上訓練（羽島市との共同開催）

近年、深刻かつ大規模化する傾向にある自然災害等に対して、管内住民の方の生命財産を守るため、岐阜羽島警察署では有事における対処能力の向上に努めています。

令和3年6月23日、岐阜羽島警察署は、羽島市総合防災ステーションにおいて、羽島市役所と共に

- 災害発生時における現地本部の設営
- 羽島市役所との住民の避難支援にかかる情報伝達
- 避難所運営時におけるトラブル事案を羽島市役所職員と共同で対処し、互いの連携・役割の確認を目的とする訓練

を実施しました。



(2) 国際テロ等の脅威に対する備え

身近に迫る国際テロ等の重大な脅威に対し、管内住民の方の安全安心な生活を守るため、平素から関係機関との連携による事前の備えを進めています。



薬局における不審者対応訓練
R3. 7. 1



カラフルタウン岐阜における広報
R3. 7. 20～R3. 9. 7